

海外安全対策情報【令和3年（2021年）10～12月期】

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は安定している。NSW州全体の犯罪発生率も、新型コロナウイルスの感染拡大以降、引き続き減少傾向にある。一方、ここ5年間の統計で見ると、DV関連の暴行・傷害及び性犯罪事案については増加傾向を示しており注意が必要である。

顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Ryde：強姦（+75.6%）

○Mid North Coast：建造物侵入（+58.6%）

○New England and North West：窃盗（車上ねらい）（+48.4%）

○Richmond - Tweed：窃盗（車上ねらい）（+29.5%）

(2) 北部準州

治安情勢は安定しているものの、コロナ規制の緩和に伴い犯罪総数が増加傾向にあり、暴行、性犯罪等人の身体を侵害する犯罪は前年比+16.3%、窃盗、器物損壊等の所有権を侵害する犯罪は前年比+16.4%となっている。

主要犯罪のうち、前年比10%以上の上昇率を示す犯罪類型は以下のとおり。

○暴行・傷害（DV以外）（+17.1%）

○暴行・傷害（DV関連）（+19.7%）

○暴行・傷害（アルコール絡み）（+12.9%）

○窃盗（住居侵入）（+17.9%）

○窃盗（店舗侵入）（+19.9%）

○窃盗（乗物盗）（+12.6%）

○器物損壊（+10.5%）

2 邦人被害

昨年7月以降シドニー市内で頻発していたロックダウン反対デモは、参加者と警官隊との衝突に発展し、双方に負傷者が出るなどの事態に至っている。その後の発生は徐々に落ち着きつつあるも、今後の情勢次第では再びデモが過熱するおそれもある。このようなデモを認知すれば、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

3 テロ・爆弾事件発生状況

近年において、シドニーでのテロの発生はないが、昨年9月10日、NSW州在住の右翼過激派の男が銃製造を企図していたとして警察のテロ対策チームに逮捕されており、当地におけるテロの潜在的脅威は存在している。また、令和2年（2020年）12月には、QLD州でIS（イスラム国）

の影響を受けた男が隣人2名を殺害するテロ事件が発生しており、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

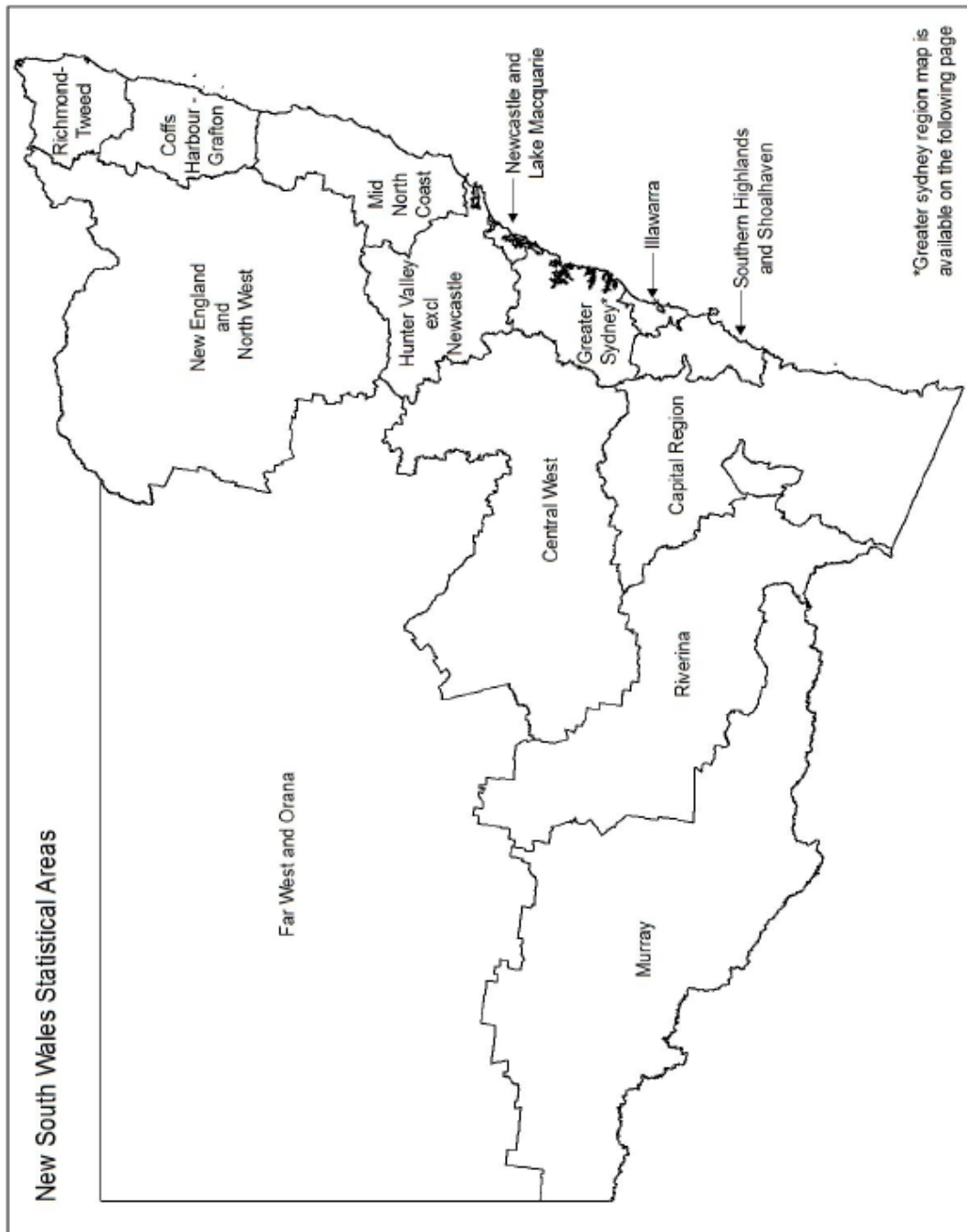
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

昨年中は特段の動向は見られなかったものの、令和2年（2020年）中、シドニー市内において、我が国に対する抗議デモが2件（慰安婦問題、反イルカ漁）行われており、これら団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2020年10月から2021年9月までの1年間（北部準州は2020年11月から2021年10月までの1年間）と前年同期との増減率）。

APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS



APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS

